

ミスミソウ（雪割草）に関する情報と資料

石 沢 進

雪割草の最新の分類

門田裕一（2006）Flora of Japan Volume II a
講談社発行による

ミスミソウ：

Hepatica nobilis Schreb. var. *japonica* Nakai

4 品種に分類

- ・スハマソウ：form. *variegata* (Makino) Kitam.
葉の裂片の先端丸い
本州（東北地方とその南方）
- ・オオミスミソウ：form. *magna* (M.Hiroe) Kitam.
葉長さ 5-6cm、幅 6-8cm、花直径 2.5-3cm。
花弁状がく片長さ 11-15mm、幅 3-6mm
本州（東北地方と日本海側）
- ・ケスハマソウ：form. *pubescens* (M.Hiroe) Kadota
葉表面絹毛、裏面圧毛、縁毛あり。花直径 1cm
本州（日本海側）と四国
- ・エチゼンミスミソウ：form. *lutea* Kadota
花（花弁状がく片）黄色
福井越前町

雪割草自生地の保護

新潟県は、一ふるさと新潟の環境を守るシンボルとして、雪割草が「新潟県の草花」に指定されました。世界に誇る新潟の草花・雪割草との位置づけで、新潟県県民だより春号（2008年4月13日）に掲載している。

しかしながら、県内の雪割草の自生地をどのように「守る」か具体策は示されていない。自生地は、西山、角田、佐渡だけではなく、広く各地に分布している。県の草花に指定することで、県民の関心は深まるであろうが、それで環境を守ることには、つながらないであろう。どのような検討を重ねて雪割草が「環境を守るシンボル」とされたのか、その中身を知りたいものである。野生の草本類の保護を厳密に進めるとすれば、法令による指定が必要であり、キタダケソウのように、採集や売買の禁止の措置が伴わなければならない[山梨県の県条例による保護]。県内各地に分布している雪割草の保護のために、県行政は具体的な方策を検討せずに、安易な指定をしたとするならば、重大な問題がある。指定の段階で自然状態の雪割草保存に配慮する十分な検討がなされたのか、極めて疑わしい。

乱獲、遺伝子の攪乱など野生種をめぐる絶滅防止に関す

る配慮には、最深の注意が必要であろう。雪割草の乱獲防止の方策、安易な移植による遺伝子の攪乱に対する方策など、十分な保護策を策定した上で「環境を守るシンボル」でなければ、指定の意味は極めて薄いと思う。むしろ、乱獲を助長し、かつ保護するとの名目で、自然群落の中に雪割草を移植することにより遺伝子の攪乱をまねく結果になるだろう。国で進めている自然界の多様性保全に逆行する結果になりかねない。県は雪割草の保護のあり方について早急にまとめて、県民に示す必要がある。県の草花としての単に指定しただけでは済まされないはずである。

野生植物、特に草本類の保護

山野に自生する植物の中で、簡単に植物体を採って持ち帰りの可能な植物には、盗掘という行為が伴うので、その保護には苦慮するところである。県内各地に”珍しい野生種”が、自生していてもその分布情報は簡単には公表できない。珍しいと報道されると、乱獲の導入を促す結果になりかねない。ラン科植物のように山野で稀に生えている種は、見つけ次第に掘り取られてしまう。最近、新津丘陵で絶滅危惧種のキンランを発見したが、その時に十分開花していないので、満開になってから写真に撮ろうと思って発見の数日後に現地を訪れると、すでに人為的に持ち去られ生育地点には、盗掘した穴だけが残っていた状況である。群生している場合には、一株位採取して持ち帰ってもよいと思いがちである。特別の理由がない場合には、そのまま野生状態に手を加えないようにしておいてほしいものである。県内における植物の分布図作成に携わってきたが、珍しい種、美しい花を咲かせる種など、見つけると採取してしまいそうな種については、公表しないように配慮してきたつもりである。しかしその線引きも簡単でなく、公表した後に乱獲の案内書になってしまう可能性もある。野生植物に関心を深めてほしいと思う一方では、分布上で珍しいと指摘することで、採取される可能性もある。「野生植物はそのまま、山野に生かしておこう」というようなマナーの徹底が図れれば、理想的であるが、現実には厳しいものがある。

県内各地に分布している雪割草などでは、群落の中に色の濃い株、花や葉の変わった株を選択的に採取する傾向がある。その行為は、結果的に自然群落から種の多様性を失ってしまうことにつながる。県の草花指定はその行為を助長

する可能性が極めて高い。草本の種を保護することの難しさに配慮し、十分な対策を推進しなければ、「ふるさと新潟の環境を守るシンボル」にはなりえない。

雪割草に関する新聞記事

最近報道された新聞記事を取りあげ、特に雪割草の保護・保全につながるような報道に注目してみたい。しかしながら、掲載されたタイトルから野生の雪割草の保護につながる記事が少ないように思われ、残念である。「保護・保全」とタイトルに掲載されたものでも、その意味の不明のものがあり、少なくとも野生種の保護に直結する内容は少ないよである。中には、保護ではなく、遺伝子攪乱につながる行為の報道もあり、今後の報道のあり方にも配慮をお願いしたい。ここには、新潟植物資料室に収集した記事のタイトルの部分を主に掲載した。記事の内容について大別して掲載したが、「祭りや展示」に関する記事が多く、雪割草に関心をよせる点では、意義がある。しかし、保護や保全には結びつかない内容で、雪割草をだしにした客寄せの傾向がほとんどである。「移植」として取り上げた記事には、保護とは逆行する内容のものが多いように思われる。雪割草のような野生植物の保護・保全には、きめ細かい配慮が望まれる。なお、この保存資料には、故池上義信先生の収集した記事も含まれている。

〔解説・情報提供〕

- 万重咲きの雪割草 佐渡金沢村の谷間から
写真：珍しい雪割草の万重咲き
産業経済新聞 1954年4月10日
- オオミスミソウ かれんさん目引く 山の妖精たち
奥阿賀の野草Ⅱ(1)
新潟日報 1997年4月14日(夕刊)
- 雪割草の植生を大切に(デスク日誌)
新潟日報 1998年3月19日
- 雪割草と遺伝子汚染(ネイチャー in 新潟)
個性守り自然復元を
写真：本県の山にオオミスミソウ
新潟日報 1999年3月2日
- ミスミソウ(花おりおり)
文：湯浅浩史、写真：平野隆久
朝日新聞 2003年3月6日
- オオミスミソウ(山の花々)加藤明文(新潟市)
新潟日報 2004年1月29日
- オオミスミソウ(花おりおり)
文：湯浅浩史、写真：平野隆久
朝日新聞 2004年3月13日
- 春の訪れ告げる雪割草(ファミリーガーデニング)
丸山真也
新潟日報 2004年3月5日

- ミスミソウ<越の花> 石田文吾
新潟日報 2004年4月1日
- 雪割草(上)[にいがた花語り<31>] 倉重祐二
国内初の記録は佐渡産
写真：長楽花譜に描かれた雪割草「匂ふ宮」と「谷間の月」
新潟日報 2005年8月12日
- 雪割草(下)[にいがた花語り<32>] 倉重祐二
昭和末期から再ブーム
写真：2005年3月に県立植物園で行われた雪割草の展示
新潟日報 2005年8月19日
- 雪割草[にいがた花語り<64>] 栽培され乱獲被害減る 久原泰雅
写真：早春に花を咲かせる雪割草(オオミスミソウ)
新潟日報 2006年3月31日
- ユキワリソウの千重咲き(花おりおり) 文：湯浅浩史、
写真：平野隆久 朝日新聞 2006年2月23日
- ユキワリソウ二段咲き(花おりおり) 文：湯浅浩史、
写真：鈴木康夫 朝日新聞 2006年2月24日

〔保護への動き〕

- 雪割草 ピンチ 和島村の村の花
鉢植えブーム、根こそぎ失敬 条例可決、保護へ本腰
写真：三島和島村の山に咲く雪割草。あふれるような花をつける大株は少なくなった
新潟日報 1987年3月21日

〔畸形〕

- これはビックリ 四つ葉 雪割草 六日町の勝田さん撮影
新潟日報 2002年3月20日

〔自生地の紹介〕

- 角田山のユキワリソウ 渡部真知子さん(50) 新潟市 私のお気に入り
写真：(自生の写真掲載)
新潟日報 2003年3月17日(夕刊)

〔祭りや展示会〕

- 春を上げるユキワリソウ 新潟(マツカワ展示会開催)
朝日新聞 1997年3月17日
- ラプリー 新潟の雪割草 プリティー
県内園芸団体英フラワーショーでゴールドメダル
日本人で初 2年前から持ち込み栽培
写真：NF21が出展した英国王立園芸協会主催のロンドン・フラワーショーの雪割草=2月15日(NF21提供)
新潟日報 2000年2月24日(夕刊)
- 雪割草まつり きょうから 川西 花いとし 春こいし

- 写真：雪割草まつりを前に、小さな花のつぼみが開き始めた = 30日、川西町の松葉荘
新潟日報 2003年1月31日
- 手塩にかけた自慢の鉢 雪割草まつり 愛好家が続々長岡
写真：会場の市民は小さい花たちを、うっとりとながめていた = 8日、長岡市宮本東方町の国営越後丘陵公園
新潟日報 2003年3月9日
- 裸で 春呼べ 花で かれんな姿に 三条で雪割草展示会 顔もほころぶ
写真：お手ごろの価格で人気を集めていた雪割り草新潟大会の即売 = 4日、三条市の県央地場産業振興センター
新潟日報 2000年3月5日
- 雪割草咲いてイベント続々 長岡 雪国植物園が開園24日
きょうから丘陵公園舞台にまつり
写真：まだ雪の残るなか、オープンした雪国植物園は大勢の来園者でにぎわった = 2000年3月18日、長岡市
新潟日報 2001年3月10日
- 貴重な雪割草 約800点を展示 国営丘陵公園
写真：変化の多様な本県の雪割草の魅力を紹介する「雪割草まつり2001」
新潟日報 2001年3月11日
- 雪割草の地 復活めざす 川西の旅館 愛好家が展示
写真：一足早い雪割草の花を楽しむ観賞客 = 2日、川西町霜条の松葉荘
新潟日報 2002年2月3日
- 愛好家の自慢 鮮やかに400鉢 長岡で「雪割草まつり」
写真：雪割草が所狭しと展示された会場は多くの人たちでにぎわっていた
9日、長岡市宮本東方町の国営越後丘陵公園
新潟日報 2002年3月10日
- ゆきわりロード（越路）力強く巣立ち見守る（誘われて 旬紀行<2>）
写真：自分たちで育てた184鉢の雪割草を、廊下に飾った「ゆきわりロード」 = 越路町の岩塚小学校
新潟日報 2002年3月19日
- 川西で雪割草まつり 春の息吹 一足早くきょうから
写真：かわいらしい花を咲かせる雪割草 = 24日、川西町
新潟日報 2004年1月25日
- 春告げる雪割草 自然の姿に歓声 西山住民ら保存イベント
写真：雪割草販売コーナーでは、真剣な目で花を選び、購入する人が多かった = 20日、西山町大崎
新潟日報 2004年3月22日
- 雪割草が春告げたよ 佐渡で展示会
写真：（展示会の様子掲載）
- 朝日新聞 2004年3月22日
- 春の訪れ 一足早く 川西 恒例「雪割草まつり」開幕 逸品1000鉢、色彩豊か
写真：いろとりどりのかれんな花びらがたのしめる雪割草まつり = 24日、川西町
新潟日報 2005年1月26日
- 保護と育成 丹精込めて [ひととき]
小須戸町で雪割草展示会を開く県雪割草協会会長
写真：手塚英明さん = 中蒲原郡亀田町砂岡2・69歳
新潟日報 2005年3月2日
- 苦勞の結晶、雪割草春色 佐渡の道の駅で展覧会
写真：（開花した鉢植えを掲載）
朝日新聞 2005年3月20日
- 麗し山野草 復興に一役 小国町森林組合が展示会
写真：外には分厚い雪が残る中、色とりどりの花が春を告げた山野草 = 19日、小国町の「紙の美術博物館」
新潟日報 2005年3月20日
- 雪割草の魅力知って 三条で来月4、5日 県内愛好家が「祭り」
新潟日報 2006年2月3日
- 雪割草の魅力知って 三条で来月4、5日 県内愛好家が「祭り」
新潟日報 2006年2月9日
- 雪割草 咲き競う
形、色 多彩で目移り 長岡でまつり 6種類に分けて展示
写真：雪割草の群生を屋内に再現した立体花壇が、多くの来場者の目を楽しませていた = 17日、長岡市宮本東方町の国営越後丘陵公園
県外観光客が祭りにどっと 柏崎
写真：（会場での観光客の様子を掲載）
可憐な姿にきぎ付け 上越即売品も吟味
写真：愛情がたっぷり注がれた作品が並ぶ雪割草展 = 17日、上越市大日本舟の国民年金健康センター上越
新潟日報 2007年3月18日
- 一足早く小さな春 新潟・白根で 雪割草展示
写真：雪割草が赤や紫色の小さな花を咲かせている「早咲き展」 = 1日午前、新潟市南区茨曾根の白根植木鉢センター
新潟日報 2008年2月1日
- 雪割草 咲き誇る 「県の草花」指定 1万鉢展示三条
写真：小さく色鮮やかな花が、多くの来場者の目を楽しませている「第9回日本・新潟雪割草まつり」（1日、三条市須頃1の県央メッセピア）
新潟日報 2008年3月2日
- 「県の草花」人気上昇 雪割草、県庁でも展示会
写真：「県の草花」指定をきっかけに開かれている雪割草企画展 = 4日、県庁一階の広報展示室
新潟日報 2008年3月5日

○『県の草花』多彩な色形 妙高道の駅で雪割草展

写真：多彩な色や形の雪割草が並んだ展示会 = 8日、
妙高市猪山の道の駅あらい

新潟日報 2008年3月11日

○かれんに春到来 長岡で雪割草まつり

写真：色とりどりのかれんな花が並んだ「雪割草まつり」(16日、長岡市宮本東方町の国営越後丘陵公園)
新潟日報 2008年3月17日

〔移 植〕

とかく移植することは”雪割草の保護”ととらえがちであるが、植栽する場所や、移植苗の入手などに注意しないと遺伝子の攪乱行為をにつながりかねない。移植行うにはきめ細かい配慮が必要であり、報道にも生物多様性保存の観点から意義ある移植であることを確認した上で取り上げてほしい。

○“雪割草の里”は日本一 西山町大崎地区に誕生 1.5ヘクタール、10万株の群落

乱掘憂え保存会が造成

写真：10万株の雪割草の群生地、もうすぐ春を呼ぶ花が咲く
新潟日報 1990年2月27日

○雪割草 乱獲から守ろう 巻町の計画スタート

種から栽培、移植へ 4年後8000株を目指す
角田山 業者や観光客らが掘り返し持ち去る

写真：角田山山中で可れんな花を開く雪割草。乱獲で減少している。朝日新聞 1990年4月25日

○県庁の森に彩を 県協会 雪割り草3000株を移植

写真：オオミスミソウの苗を植える愛好者ら = 10日、新潟市の県庁の森

新潟日報 1997年5月19日

○群生復活へ春心待ち 角田山 雪割り草移植に奮闘

巻の有志 乱獲ノー、保護訴え

写真：咲き誇る花はみんなが見たいよ

新潟日報 1997年11月7日

○大きく育て雪割草 松之山 全校児童が植え付け

写真：雪割草を植える児童ら。来春には一人ひとりの花が咲く
新潟日報 1999年11月8日

○盗掘から山野草を守る 苗をハウス栽培、山に移植

大崎雪割草保存会 刈羽西山町<農林漁業 生産現場から>

写真：パイプハウスの中で育苗されている雪割草の苗。販売のほか、毎年4月中旬ごろには、一部山に移植される

写真：会員の手で整備、管理されている「雪割草の里」。3月上旬からのシーズンには県内外から多くの人を訪れる = 2000年3月

新潟日報 2001年2月25日

○待ち遠しい春 長岡・丘陵公園 雪割草苗植え

写真：雪割草の苗を植える国際雪割草協会のメンバー
新潟日報 2002年11月18日

○雪割草よみがえれ “山の妖精” 佐渡外海府

ボランティアら増殖願い苗植栽

写真：外海府の山々に雪割草を返そうと植栽するボランティア = はじき野フィールドパーク

新潟日報 2004年3月19日

○きつと花開く 長岡の雪割草 里山に移植

写真：来春の開花を祈りながら雪割草の植え付けが行われた = 14日、村松町

新潟日報 2004年11月15日

○待ち遠しい妖精の花園 雪割草1万株を植栽 長岡・丘陵公園

写真：冷たい雨をものともせず、約1万株の雪割草を植えた参加者 = 20日、長岡市宮本東町の国営越後丘陵公園
新潟日報 2005年11月21日

〔自生地の破壊・盗掘〕

○ユキワリ草絶滅の危機 巻の角田山 高値、乱掘に拍車 珍種選り違法採取

写真：ユキワリ草の即売会 (右下のものは1鉢6000円)

読売新聞 1988年4月3日

○雪割草を採らないで 群落残し温かく見守って (能登 洋一 窓欄)

新潟日報 1989年2月9日

○「雪割草」乱獲許すな 弥彦周辺で監視強化 寺泊町 職員動員、警察通報も

写真：弥彦山に「雪割草」の持ち出し禁止を呼び掛ける看板を立てる町職員と県自然環境保護員

新潟日報 1989年2月25日

○雪割草 保護に懸命 和島村 荒らされる群生地

写真：かれんな花を咲かせる雪割草。「取らないで……」と、和島村では保護に懸命だ

朝日新聞 1989年3月9日

○雪割り草が危ない! 県外業者が採り放題 弥彦山 群落崩壊の恐れ

写真：かれんに咲く雪割り草。

弥彦山は今年も県外業者に荒らされ、愛好者がっかり
新潟日報 年・月・日

○雪割り草 自然荒らす新ルートづくり [角田山ものがたり<38>]

写真：雪割り草は「春告げる草」ともいう、雪解けとともに雑木林の斜面を覆うように咲き、春の山野をカラフルに埋め尽くす

新潟日報 1996年3月28日

○高値の花 山野草の乱獲ブーム後も [緑のふるさと 震える野生 8] (雪割草についても掲載)

新潟日報 1998年3月11日

〔園芸・花紹介〕

- 見ごろ迎えた「雪割草の里」 西山
写真：(開花株掲載) 新潟日報 1993年3月13日
- 色彩競演 雪割り草 佐渡・外海府で満開
新潟日報(夕刊) 1996年4月17日
- 陽光浴び咲き誇る雪割草 [98春が来た]
写真：(開花した雪割草の花掲載)
朝日新聞 1998年3月7日
- 彼岸入り実感 足元に妖精 県庁の森
写真：(開花状況掲載)
新潟日報 1998年3月18日
- いま盛り 雪割り草がお出迎え 「雪国植物園」21日開園
長岡 イベントも多彩に
写真：暖冬の影響で例年より早いオープンを告知する雪国植物園のチラシ
新潟日報 1998年3月19日
- どこかで、春が ユキワリソウ咲き始め 関川
写真：咲き始めたユキワリソウ=関川村六本杉で(栽培のもの) 朝日新聞 1999年3月2日
- 本場の雪割草 園芸の本場へ 巻の業者 イギリスに輸出準備
写真：防疫所の検査に合格したハウスで栽培された雪割草と本間さん
新潟日報 2001年2月17日
- 雪割草を「第二の県花」に(私の視点 皆川洋作)
新潟日報 2001年2月27日
- 英国が認めた新潟の植物、今後は
国際雪割草協会副会長 岩淵公一さん 人生変えた群落再現したい
写真：いわふち こういち
新潟日報 2001年9月24日
- 雪割草は県の花(ハナとみどりと人間と 大原久治)
新潟日報 2001年9月27日
- 雪割草に魅せられて 市園芸センター 栽培講座に希望者殺到
写真：雪割草の鉢の植え替え方法などを熱心に学ぶ栽培講座の参加者たち
新潟日報 2002年3月15日
- 佐藤国さんのふるさと恋々 96 雪割草
都会でも人気の春告げる「妖精」
写真：1955年、旧小千谷市役所庁舎の窓辺に飾られていた雪割草 朝日新聞 2002年3月13日
- 大きく開け雪割草街道 日曜ひろば
長岡、西山の3施設 新名所づくりへ連携 群生の花

PR/見ごろも長く

写真：早春の天気の良い日中に愛らしい花を開く雪割草。

- 多くの人がこの時期を待ちわびている=西山町の大崎雪割草の里 新潟日報 2003年3月23日
- 新潟ひと紀行⑩ -佐久間かつえ
雪割草 村越和博さん(56) 栃尾市 種類は無限 開花の喜び 新潟日報 2003年3月24日
- 雪割草が見ごろに 例年より早く開園 長岡・越後丘陵公園 朝日新聞 2003年4月2日
- 雪割草 春告げる 新穂の久文さん宅で開花
写真：新穂村の久文勝巳さん宅では、暖かさに誘われたのか、雪割草がちらほらと花を咲かせはじめた。 朝日新聞 2004年2月20日
- 雪割草 白岩の里入所者が育成 白、ピンク 200鉢 新潟の福祉の店で販売
写真：色とりどりの雪割草が並んだ即売会=27日、新潟市の新潟ユニゾンプラザ
新潟日報 2004年2月28日
- かれんな春みつけた 長岡・雪国植物園 開園にぎわう
写真：愛らしい花を咲かせる雪割草。
愛好家が熱心にシャッターを切っていた(13日、長岡市宮本町3の雪国植物園)
新潟日報 2004年3月14日
- 『雪割草も県の花に』 5,6両日三条祭り 乱獲で激減、保護訴える
写真：春の訪れを告げる雪割草。日本雪割草協会 国営越後丘陵公園でも、毎年、花をつける=長岡市で
新潟日報 2005年3月4日
- 雪割草 陽気に敏感な妖精 [さんさん頸城野(里山・沼・山野草)] 新潟日報 2005年3月12日
- 春の妖精 長岡雪割草見ごろ
写真：ようやく見ごろとなり、山々に春の彩を添える雪割草=4日、長岡市の国営越後丘陵公園
新潟日報 2005年4月5日
- 階段上がれば春爛漫 糸魚川市山本さん宅 雪割草 200鉢満開
写真：山本さん宅2階のわずかなスペースに満開の花を咲かせた200鉢の雪割草=糸魚川一の宮2
新潟日報 2005年4月13日
- 雪割草が一斉に開花 山野草観察 長岡市 [えっさ探訪陽光に誘われて④]
写真：午後の日差しを受け、花を咲かせる雪割草。雪解けが進み、野山はこれから本格的な春を迎える=長岡市宮本町3の雪国植物園

- 新潟日報 2005年4月14日
- 雪割草ブルブル 中之口寒波響き開花遅め
写真：かれんな花を咲かせ始めた雪割草=新潟市中之口
新潟日報 2006年1月18日
- そろそろ春かな雪割草花開く
朝日新聞 2006年2月20日
- 活気を 早春を 一冊に 15年連続で雪割草写真集
新津の園芸センター
写真：約130点の雪割草を色鮮やかに紹介した今年の写真集「花競演」
新潟日報 2007年2月1日
- 雪割草 探してみませんか ガイドブックが完成
柏崎
写真：柏崎市西山町の大崎雪割草の里で見られる雪割草を紹介したガイドブック「雪割草の里ミニブック」
新潟日報 2007年3月8日
- 雪割草 県の草花に 検討委設置へ
写真：県の「草花」指定へ検討委が設置される雪割草=上越市柿崎区
新潟日報 2008年1月10日
- 雪割草 あすから「県の草花」42ぶり新シンボル
新潟日報 2008年2月29日
- 雪割草「県の草花」に指定 花・鳥・木に続きシンボル4つ目
写真：県は1日から「雪割草」
朝日新聞 2008年3月1日
- 西山町に30万株自生 住民らが保存会
『雪割草』小学生がガイド 観光客に説明コース周遊
写真：雪割草の魅力を話し合う石地小の児童=柏崎市西山町大崎で 朝日新聞 2008年3月14日
- 雪割草に親しもう 柏崎の自生地 石地小児童が案内役
写真：かれんな雪割草を見てにっこりする子どもたち=17日、柏崎市西山町大崎の「大崎雪割草の里」
新潟日報 2008年3月19日
- 春告げる かれんな一輪 県の草花 雪割草【花新潟物語】(20面特集)
集落挙げ群生を復活 小学生もガイドで参加
柏崎・西山の保護活動(2.5ヘクタール30万株、ルート整備)
写真：枯れ葉の里山に咲く雪割草。春の到来を確かめようと大勢の愛好家らが足を運んでいた=17日、柏崎市の大崎雪割草の里
色とりどり 見る人魅了
写真：大崎雪割草の里を彩る愛らしい花々。白や紫色の花びらが鮮やかだ。鉢植えの八重咲とは異なり、自生種特有の素朴な美しさが目を引く
三大群生地は西山、角田、佐渡
- 自生地保護にプラス 県雪割草協会会長
手塚英明さん(72)
手軽に栽培できる花 花工房ほんま代表
本間秀晃さん(37)
42年ぶりシンボルに指定 投書きっかけ 愛好家らが団結 署名活動 身結ぶ
新潟日報 2008年3月24日
- チューリップ、雪割草・・・県シンボル絵はがきに 4枚セット無料で配布
写真：雪割草を加え、県のシンボル4つになったことを記念して作られた特性絵はがき
新潟日報 2008年3月25日
- news NOW! 新潟県の草花に指定された「雪割草(ユキワリソウ)」ってどんな花? (一面に紹介)
新潟 日報こども新聞 新潟日報 vol.13
新潟日報 2008年4月13日
- 雪割草が「新潟県の草花」に。
-ふるさと新潟の環境を守るシンボルとして、雪割草が「新潟県の草花」に指定されました-
世界に誇る新潟の草花・雪割草
新潟県県民だより 春号 2008年4月13日
- 県の新シンボル雪割草を次代へ 新潟指定祝い式典
写真：雪割草の「県の草花」指定を祝って開かれた記念式典=20日、新潟市中央区の新潟東映ホテル
新潟日報 2008年4月21日
- 〔絵画〕
- 雪割草(大矢 紀 ふるさとの詩・季・彩)
新潟日報 2001年3月9日
- 〔開花紹介〕
- 鳥を彩る雪割草 朝日新聞 1990年3月26日
- けなげに寒さに耐え 長岡の丘陵で雪割草
写真：長岡市の西部丘陵で、例年より10日早く咲いた雪割草
新潟日報 1990年3月27日(夕刊)
- 清楚に一輪”鳥娘”
写真：<千重>奇型には違いないが、その見事さは息をのむ。
“幻の花”ともいわれ十数万円の値で取引がうわさになるのは、この種の花だ=相川町Fさん宅
佐渡の雪割草が満開 開発で”幻の花”ピンチ
写真：まだ新緑の芽ぶく前、広葉樹林の地面には、雪割草が大急ぎで短い一生をすごしている=両津市北小浦
写真：<標準花>普通花とも呼ばれるが、色、花びら、オシベ・メシベの変化の組み合わせでさまざま

な呼び名がつく。八分咲が最も美しいとされ、特に色の濃さは、佐渡の特徴だ=両津市、相川町の山地

新潟日報 1993年4月22日(夕刊)

○花の便り春の気配 雪割草

写真:地元住民の手で保護され、数が増えてきた雪割草=刈羽・西山町大崎の群生地

朝日新聞 1996年4月12日

○山の春先取り 雪割り草満開 白根

新潟日報 1997年3月24日

○彼岸入り実感 足元に妖精 県庁の森

新潟日報 1998年3月18日(夕刊)

○いま盛り 雪割り草がお出迎え 「雪国植物園」21日開園 長岡 イベントも多彩

写真:暖冬で例年より早くオープンを告知する雪国植物園のチラシ 新潟日報 1998年3月19日

○どこかで、春が ユキワリソウ咲き始め 関川

写真:咲き始めたユキワリソウ=関川村六本木で

新潟日報 1999年3月2日

○雪割り草 かれん 白根のハウス

新潟日報 1999年3月9日

○春咲き取り 巻のハウス雪割草、色鮮やか

写真:ひと足早く色とりどりの雪割草の花が咲き乱れる栽培ハウス=4日、巻町竹野町の「花工房ほんま」 新潟日報 2001年2月5日

○雪割草 春告げる 新穂の久文さん宅で開花

写真:(鉢に咲いた花を掲載)

朝日新聞 2004年2月20日

○春を待つ雪割草 新潟市 鈴木万平さん(71)撮影 読者の一枚 新潟日報 2004年3月5日

○2ヶ月早く雪割草 長岡で暖冬の影響

写真:雪国の春を告げる「雪割草」の開花が26日、長岡の国営丘陵公園で例年より2ヶ月早く確認された 朝日新聞 2007年1月27日

○ポカポカ花も早起き? 県内気温3月下旬並み 長岡で雪割草咲く

写真:紫色の花を咲かせた雪割草(26日午後3時過ぎ、長岡市の国営越後丘陵公園)

新潟日報 2007年1月27日

○可憐に春告げる

写真:小さな花を咲かせ始めた雪割草(国営越後丘陵公園で) 読売新聞 2008年3月30日

関連団体

- 守れ!! 雪割草「国際協会」来春旗揚げへ 繁殖、環境保全を推進
長岡に事務局 県人ら奔走、会員募集

写真:国際的協会を設立、保護と普及が図られることになった雪割草

新潟日報 2000年12月22日

○越後雪割草街道連絡会が受賞 「花の観光地づくり大賞」

写真:連携する観光誘致のPRなどが評価された越後雪割草街道連絡会の参加施設、雪国植物園=長岡市 新潟日報 2006年9月28日

図書

高橋勝雄(1994) ユキワリソウを楽しむ (NHK 趣味の園芸) 31-38 NHK 出版

岩淵公一(2002) 雪割草の楽しみ方 (NHK 趣味の園芸) 4-13 NHK 出版

岩淵公一(2004) 雪割草 毎年花を楽しむために (NHK 趣味の園芸) 6-14 NHK 出版

岩淵公一(2006) よくわかる栽培 12か月雪割草 (NHK 趣味の園芸) NHK 出版

栃の葉書房(1996) 雪割草 最新人気銘花 別冊趣味の山野草

栃の葉書房(2005) 雪割草 パーフェクトブック 別冊趣味の山野草

日本雪割草協会登録新花 雪割草の栽培法

花工房ほんま(雪割草ナーセリー) 関係

Honma Catalog 2006 52pp.

Honma Catalog 2007 52pp.

雪割草 Yukiwarisou *Hepatica nobilis* 2003 spring

雪割草 hana kou bou honma 2004

雪割草読本 (雪割草読本 2005 [創刊号]) 44pp.

雪割草のある生活(花工房ほんま通信) Vol. 1 2006.11.1 創刊号

文献(分類)

中井猛之進(1937) 日本領内ノすはまそう *Hepatica* 属植物(其1) 植物研究雑誌第13巻第4号:227-243

中井猛之進(1937) 日本領内ノすはまそう *Hepatica* 属植物(其2) 植物研究雑誌第13巻第5号:305-314

広江美之助(1957) A cytotaxonomical study on *Anemone Hepatica* L. (Ranunculaceae) of Japan (日本産ミスミソウ属の細胞分類学的研究) Bot.Mag. Tokyo (植物学雑誌) 第70巻第823号:4-7

原 寛・黒澤幸子(1958)

Differentiation within *Anemone Hepatica* L., of Japan. 植物研究雑誌 第33巻第9号:265-275.

門田裕一(2006) Flora of Japan Volume II a 講談社発行